

令和6年度自主防災会リーダー研修

 蒲郡市役所

自主防災会リーダー研修

- 1 蒲郡市で発生する災害のおそれを知る
- 2 自主防災活動の必要性
- 3 住民の自助意識を高める（災害への備え）
- 4 住民主体の避難所運営の必要性について
- 5 資機材の取扱い、倉庫の確認

※各項目においてグループワークを実施します

1 蒲郡市で発生する災害の おそれを知る

- ・想定地震

南海トラフ地震(最大震度7)

- ・主な被害 ※理論上最大(冬の夕方、深夜5時)

人的被害ー死者 500人

物的被害ー約 7,600棟

(津波、建物倒壊、火災、液状化、土砂災害)



平成26年5月30日愛知県発表
愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査より

地震災害における地域の危険の整理

ハザードマップを確認し、皆さんの地域の危険について話し合いましょう。

- ①想定震度は？
- ②津波の可能性は？
- ③液状化の可能性は？
- ④土砂災害の可能性は？
- ⑤どのような被害や影響が生じるか？

ワークシート(地震)

自分の地域における地震時の被害を、ハザードマップや被害想定資料で確認してみましょう。

① 想定震度

震度

② 津波の可能性

津波の可能性 あり・なし / 基準水位

③ 液状化の可能性

液状化の可能性 あり・なし

④ その他、地震によって地域に生じる被害・影響等

地震によって、津波や液状化以外に、どのような被害や影響があるか考えてみましょう。

建物の倒壊



建物の倒壊



家具や物が 散乱



総務省消防庁ホームページ

ブロック塀・ 石垣の倒壊



(財)消防科学総合センター
<http://www.isad.or.jp/>

津波の被害



(財)消防科学総合センター
<http://www.isad.or.jp/>

土砂災害



道路の損壊



液状化



延焼火災



ライフライン の供給停止

- ・断水
- ・停電
- ・電話
- ・インターネット



消防科学総合センター
<http://www.ssd.or.jp/>

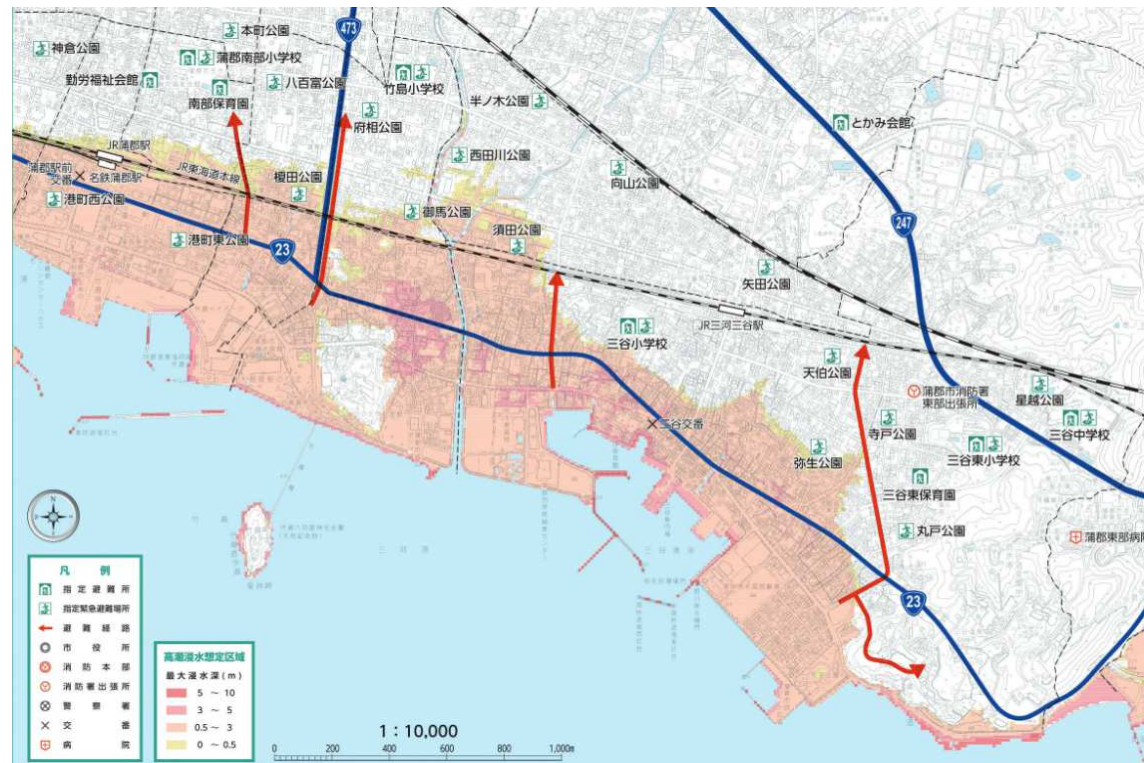
下水道 使用不可



蒲郡市に想定されている大雨や台風等の被害

大雨や台風による主な被害

- ・高潮による浸水
- ・洪水による浸水
- ・大雨による土砂災害
- ・強風・竜巻による家屋倒壊等



高潮による浸水

河川の氾濫による浸水

雨水による浸水



風による 家屋の倒壊



土砂災害



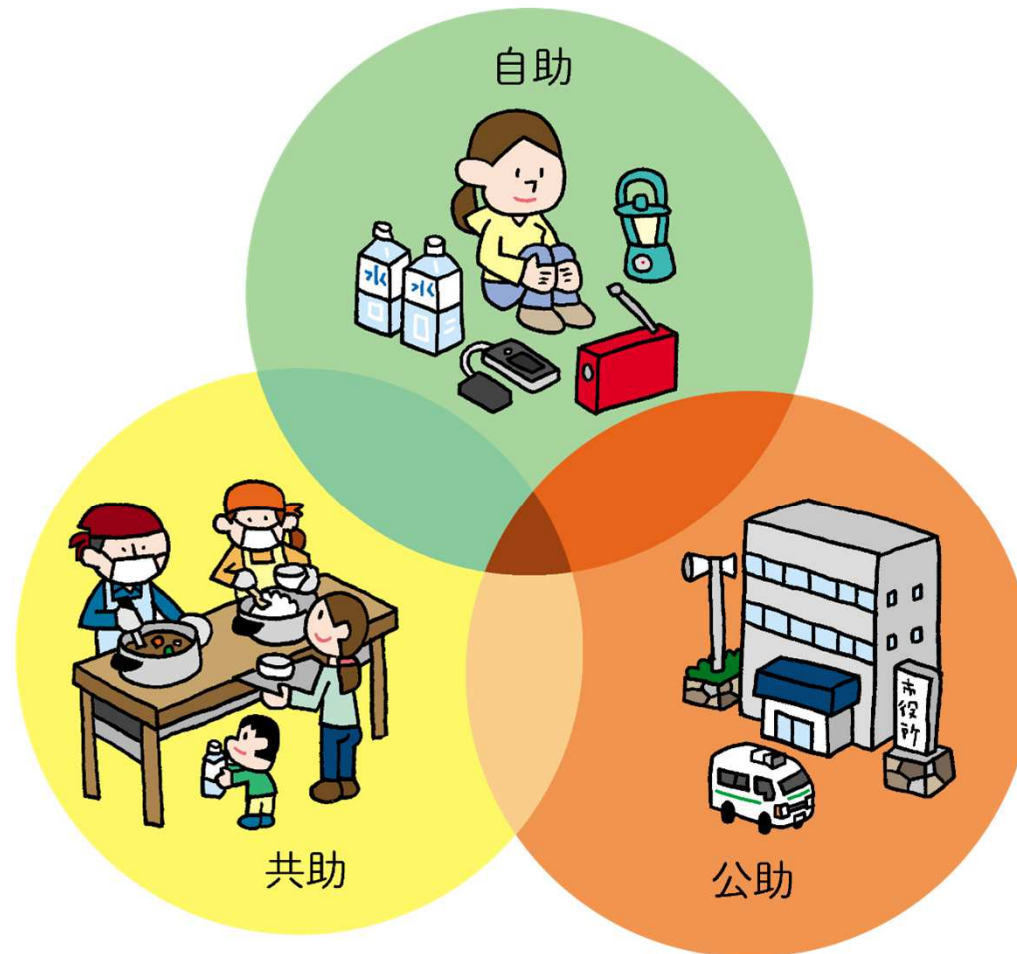
ライフライン の供給停止

- ・断水
- ・停電
- ・電話
- ・インターネット

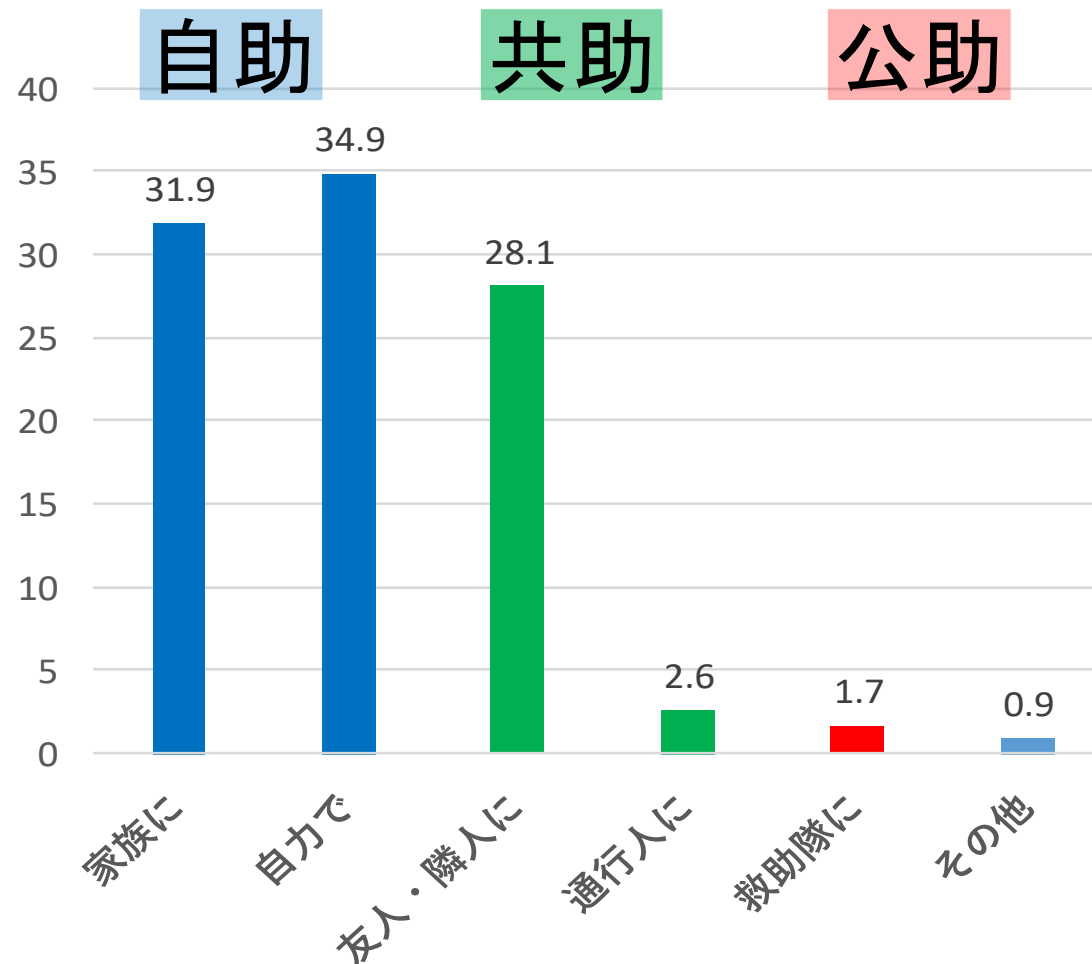


消防科学総合センター
<http://www.ssd.or.jp/>

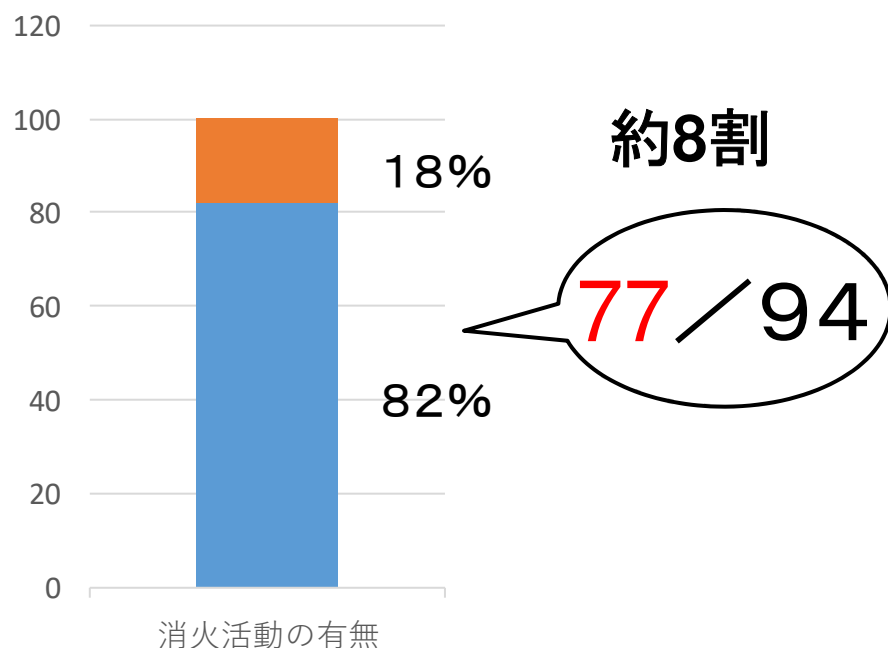
2 自主防災活動の必要性



阪神・淡路大震災において、倒壊 家屋からの救助活動の主体



阪神・淡路大震災に、神戸市内で調査した94か所の火災現場のうち、**約8割の77か所**で**市民消火活動**が展開された



参考: 日本火災学会

長田区西代市場火災

自治会リーダーの呼びかけで
200人以上のバケツリレー
倒壊家屋を動かし延焼防止

東灘区御影西町火災

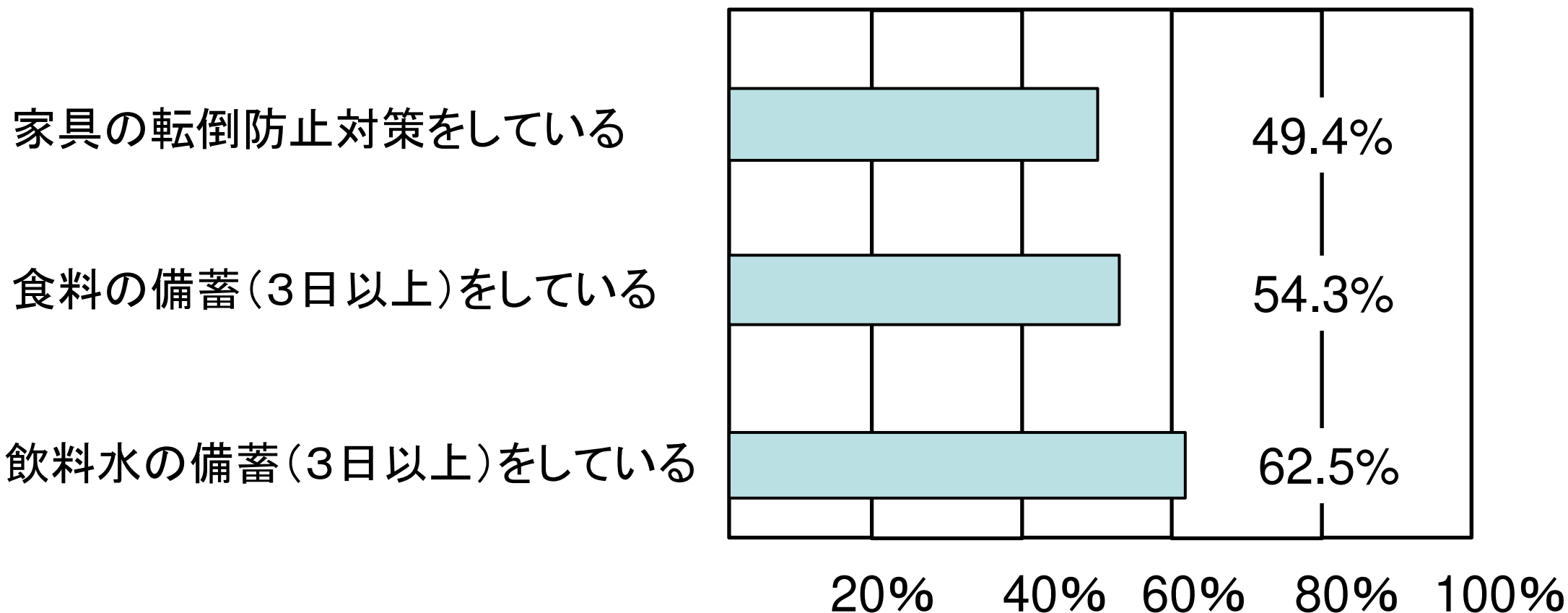
子どもを含む約300人がバケツ
リレー

長田区東尻池町火災

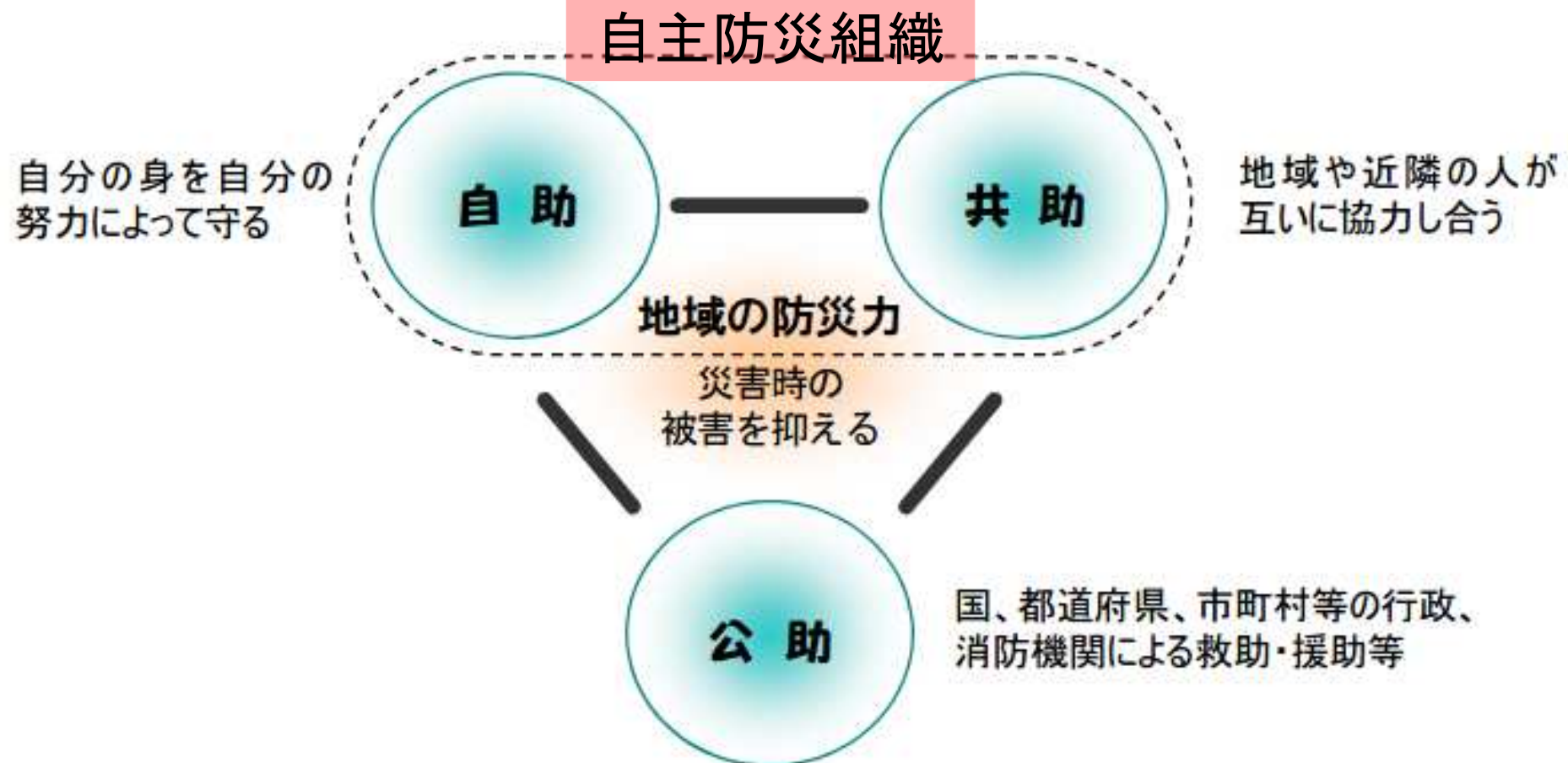
近隣企業からポンプ、ホースな
どの提供を受けて活用

近年、自助の意識は高まっているが、まだ不十分

※昨年度のリーダー研修アンケート結果より(回答者425人)



自主防災組織の役割



災害時(特に直後)は、「公助」の活動には限界がある
✓ 道路の寸断等で地域が孤立 ✓ 行政等も自身が被災

「自助」「共助」の防災活動が重要

自主防災組織とは、
「自分たちの地域は自分たちで守る」
という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成された地
域の防災活動の中核となる組織

蒲郡市自主防災組織設置要綱

組織は、総代区内にある全世帯をもって構成するものとする。

自覚

自分たちの地域は自分たちで守る

目的

災害による被害を予防し、軽減する

活動

防災教育、防災啓発、防災訓練
避難行動要支援者対策、避難所運営など
※地域によって様々

地域とのつながり・結びつきが希薄化する現在、**安心・安全な暮らしを守る地域社会づくり**には、「自助」・「共助」の力を高める自主防災組織の活動が不可欠

自主防災組織の日常における活動の目的

【自助力の向上】

各家庭での
防災対策の促進

【共助力の向上】

地域の
災害対応力の向上

- ①地域とのつながり、結びつきの希薄化
- ②組織役員の高齢化と昼間の活動役員の不足
- ③自主防災活動に対する住民の意識不足
- ④リーダー不足
- ⑤活動のマンネリ化

自主防災組織の抱える課題の改善策について話し合いましょう。

- ①地域住民の防災意識を向上させるためには
- ②地域とのつながり、結びつきを強くするためには
- ③継続して地域防災の向上に取り組むためには

各グループで①、②、③についてそれぞれ話し合ってください。

- ①住民の自主的な活動を促す工夫
- ②リーダーの選任の工夫
- ③消防団をはじめとする様々な地域活動団体との連携
- ④他の地域の自主防災組織との連携
- ⑤地区防災計画の作成による活性化及び継続性

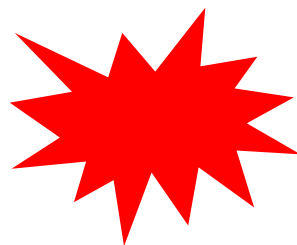
自主防災組織の必要性 まとめ

- ・災害時（特に直前、直後）は、「自助」と「共助」の防災活動が重要です
- ・自主防災組織は、自助・共助の役割を果たすとともに、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行います

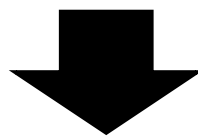
3 住民の自助意識を高める

自助の重要性と
災害への備え（備蓄）

災害から「いのちを守る」ためには、様々な視点から「災害に備える」ことが重要



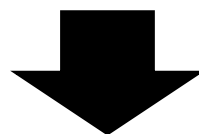
大規模な災害



いのちの危険
に見舞われる

ライフライン
が被害を受け、
当面の間使えない

必要なものが
入手しづらい



災害への備えが重要

みなさんが、実施している災害への備えについて
話し合しましょう

- ① 命の危険に見舞われる
（命を守るために必要な備えとは）
- ② ライフラインが被害を受け、当面の間使えない
（こういった備えがどれくらい必要か）
- ③ 必要な物が入手しづらい
（こういった備えがどれくらい必要か）

①事前に身の安全を守り、危険を回避する

住宅の耐震化

室内の転倒・落下・移動防止措置

地域特性(危険把握)

その他

(避難行動マップの作成、想像力、判断力、行動力の向上)

②被害を最小限に留める

防火対策・初期消火

応急手当

救出・救助

③生き延びる

非常持出品、備蓄品の整備

情報収集手段、家族の安否確認方法

事前の備え(備えておく物)

①非常持出品

避難するときにまず**持ち出す**べきもの。

被災した最初の1日間をしのぐために、必要最小限を備える。

例えば

現金、スマートフォン、食料、飲料水、救急用品、カッパ、懐中電灯、ラジオなど

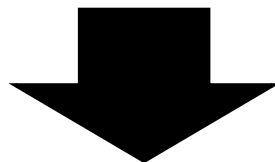
②備蓄(非常備蓄品)

発災後の**避難生活(3日程度)**に必要なもの。

救援物資の到着までに最低限必要なモノを準備しておく。

例えば

食料・飲料水・簡易トイレ・生活用品など



- ・家族構成や一人ひとりの特性に合わせて準備
- ・リーダーとして地域に伝えましょう

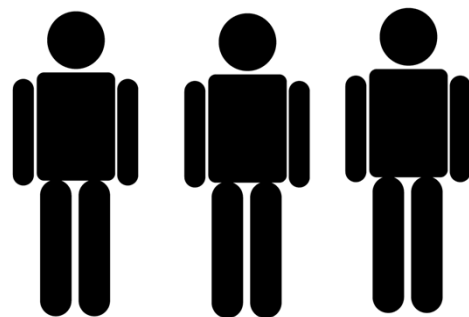
蒲郡市の公的備蓄状況

公的備蓄物資支給対象者は
「災害の発生により、家屋の倒壊又は焼失のため、
避難所で生活することを余儀なくされ、かつ物資
の確保が困難な者」とし、発災直後から3日後の避難者数、
1日平均8,400人に基づき備蓄しています。

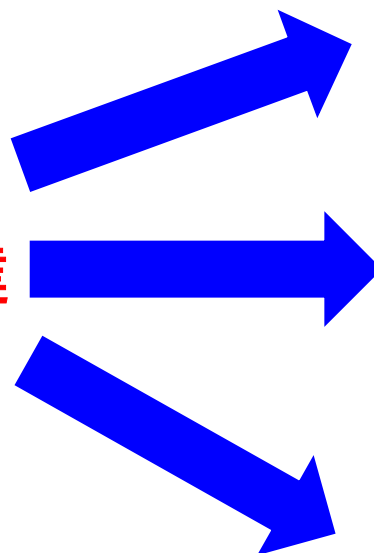
蒲郡市では8,400人分の備蓄食料しか準備していません。
各家庭で備える必要があります！

たくさんの人に知ってもらうことが重要

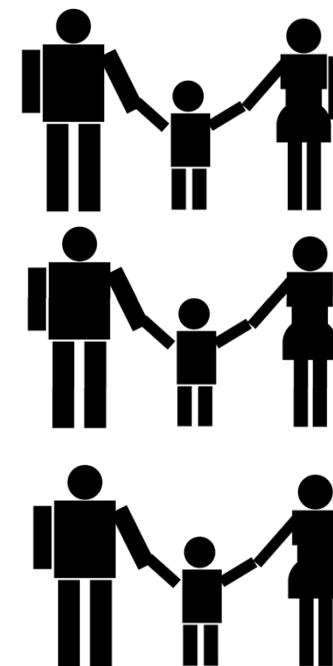
地域の防災リーダー
(自主防災組織)



伝達



地域住民



地域の防災リーダーが、災害への備えの必要性を理解、実践し、地域の人たちに伝えていきましょう。

住民の自助意識を高めるためには まとめ

- ・災害からいのちを守るためには、さまざまな視点から災害に備えることが重要です。
- ・家具等の転倒防止などを自ら実施し、地域に伝えましょう。
- ・「非常持出品」や「備蓄」を自ら整え、地域に伝えましょう。

4 住民主体の避難所運営の 必要性について



避難所の開設から撤収までの流れ

災害発生

初動期 (災害発生当日～数日)

災害が起きた時

□自分と家族の身の安全を確保

災害が
おさまったら

□隣近所で声をかけ、助け合いながら避難
※自力で避難できない人を支援
※安全な範囲での共助による救助、初期消火

避難した場所で

□避難してきた人を、総代区や常会などの班ごとに確認
□行き先(避難所なのか自宅なのか、知り合いの家など)
を自ら判断してもらう

避難所の開設から撤収までの流れ

避難所（病院、福祉避難所を含む）
へ行く人



避難先

- 建物の安全確認
（施設管理者、避難所開設担当
職員と相談して開設）
- 開設準備、受付、建物の制限
- 市災害対策本部への連絡
- 遺体の一部受入れ等

自宅に戻る人、知人宅など



- 支援を受ける必要がある場合
（家が損壊したが、自宅敷地内
で生活をする場合、車で生活す
る場合等）
- 避難所利用者登録

避難所を利用する人たち（避難所外避難者も含む）が
主体となって運営できるよう、避難所運営委員会を組織する



安定期(数日～3週間間程度)

人々の要望が多様化する時期。避難生活の長期化による心身の機能の低下に注意。

撤収期(ライフライン回復時)

避難所の集約や統廃合などにより、施設本来の業務再開準備を行う。

市の職員が主体で避難所を運営するんじゃないの？

蒲郡市の避難所開設担当職員は、あくまでも避難所を開設する職員であり、各学校で2名の担当者しかいません。

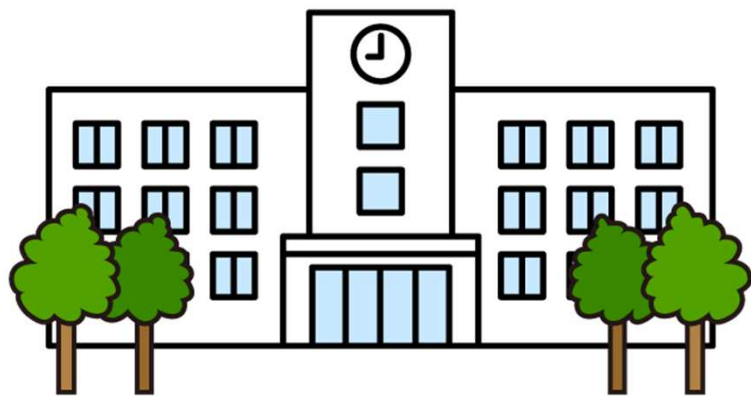


避難所開設担当職員だけでは、
避難所の運営が不可能
被災して来れない可能性もある

復旧・復興業務に影響

施設管理者（学校職員）が主体で避難所を運営できないの？

施設管理者（学校職員）は、教育の児童生徒等の安全確保とともに、児童生徒等の安否確認と学校教育活動の早期正常化に向けて取り組むことが必要。



施設の管理者であるが、
避難所運営の管理者ではない

児童・生徒が在校中に学校が避難
所となる可能性もあり、対応は困難

「生活の質」の向上、早期の「生活再建」を目指すには・・・

地域住民

避難所の運営

避難所開設担当職員

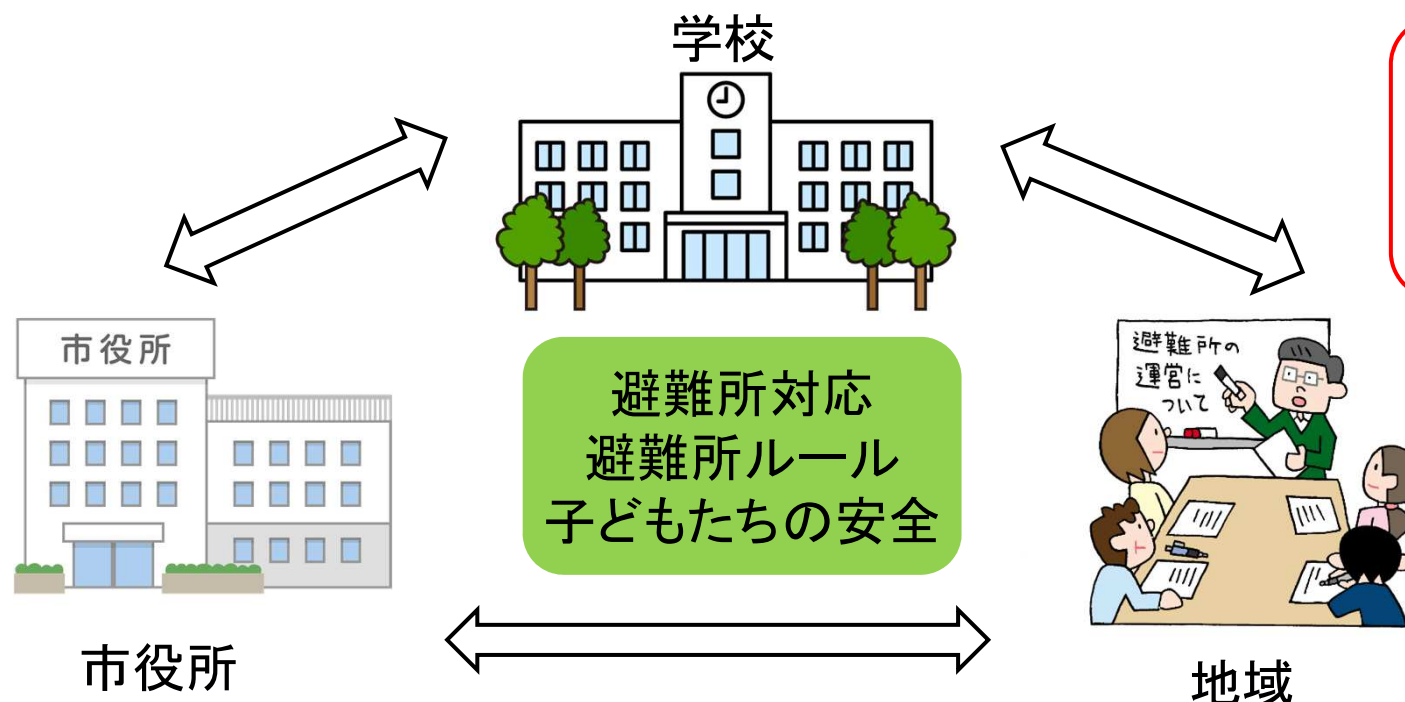
災害対策本部との調整（被害状況、物資の調整）

施設管理者（学校職員）

避難所の施設管理、早期の学校教育の再開、児童・生徒の心のケアの対応

役割分担を明確にすることが必要！！

避難所における自主的な運営の必要性



平常時からのかかわりが重要。避難所開設・運営について学校、近隣住民、行政であらかじめ協議しておく。

顔の見える関係の構築

実効性・継続性を高めるために地区防災計画の作成が有効です。

クロスロードゲームとは

「岐路」「分かれ道」のことで、災害時の対応は、ジレンマを伴う重大な決断の連続です。

問題には正解はありません。しかし、それらの問題について、参加される皆さんが話し合うことによって、皆さんならではの「正解」を考えていただくことは可能です。



あなたは避難所の運営リーダーです。

地震発災後、高齢の避難者（夫婦）がペット（犬：柴犬）を連れて避難して来ました。

- ・ペットを受け入れますか？
- ・受け入れる場合、学校のどこにペットスペースを設けますか？



あなたは避難所の運営リーダーです。

観光客30名を乗せたバスが、避難所に避難して来ました。体育館はたくさんの避難者が避難しており、物資も不足している状態です。



- ・避難者を受け入れますか？
- ・受け入れる場合、学校のどこにスペースを設けますか？

あなたは避難所の運営リーダーです。

被災から12時間。避難所に県外から来たと言
い、支援物資として手作りのおにぎりの提供が
あった。食料が不足する状況で、提供された場
面は避難者も見えていた。しかし、避難者分の数
は足りない。

おにぎりを配る？



5 資機材の取扱い、倉庫の 確認





観光交流立市
がまごおり